



KENCHIKU SHIZUOKA
Public relations magazine

特集 ■ 京都

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1 書院群 | 6 賞花亭 | 11 外腰掛軒裏 |
| 2 池越しの月波楼 | 7 笑意軒内部 | 12 月波楼内部 |
| 3 池越しの松琴亭 | 8 月波楼内部 | |
| 4 園林堂と太鼓橋 | 9 松琴亭茶室 | |
| 5 笑意軒と舟着き | 10 松琴亭内部 | |



宮内庁のHPより参観申し込みをしました。ネットでは抽選からハズレてしまいましたが、往復はがきで再チャレンジしたところ、メンバー全員で参観できました (Special Thanks 清水さん)。個人的な感想を一言でいうと「シャレオツ!?!」皆様、是非、参観されるといいと思います。

書院群 左から、新御殿、楽器の間、中書院、古書院の一部 (書院群の内部は見られませんでした)

今回、桂離宮の拝観は初である。桂離宮は皇室関連施設。江戸時代の17世紀に皇族の八条宮の別宅として創設された建築群と庭園からなる。ここは日本庭園として最高の名園ともいわれる日本の美を凝縮したような別荘。桂離宮の中心となる書院群は「古書院」「中書院」「楽器の間」「新御殿」に分かれており、その前に広がる大きな池の周囲にそれぞれ異趣な茶室が点在している。庭園は、約7万平方メートルの回遊式庭園になっており、どの建物からも庭を楽しめるように工夫がされているようだ。また、桂離宮の建築が始まって以来、400年間一度も火災にあっていないらしい。今回は、桂離宮の歴史詳細は割愛する。



古書院と月見台



古書院の破風



松琴亭



賞花亭



園林堂



笑意軒

1903年桂川、淀川が増水し桂村付近では1丈4尺(4.24m)の増水があり、桂離宮側の堤防が崩壊の恐れがあったので村民は徹夜して堤防防御に尽力したという。しかし破堤は免れたが堤内の水が一時、桂離宮の最も低い松琴亭の床下に達したという。桂離宮のそばを流れる桂川はもともと毎年のように洪水を引き起こす「暴れ川」として恐れられており、この桂離宮もその都度ごとに一定の被害を受けてきた。地理的にはどう見ても洪水被害を免れないはずなのに、なぜか桂離宮に限っては洪水による大規模な被災の記録が一度もないと言われている。

その秘密は敷地の周囲にめぐらされた生け垣にあると言われている。ここの生垣は「桂垣」と呼ばれる特殊なもので、地面から生えている「生きた竹」をそのまま折り曲げ、穂先を編みこんでつくられた垣根になっている。「桂垣」はその姿から笹垣と思われているが、実は耐水性の良い「淡竹」を生えたままに折り曲げて編み付けられている。実際に洪水が起こると、この隙間から水が敷地内に流れ込んでしまう一方で、垣根沿いに一定間隔でケヤキも植えられており、垣根の裏側は折り曲げられた「淡竹」とともに「真竹」も高密度に植えられているため、襲い来る濁流に含まれる土砂や流木は、垣根、竹林、ケヤキの隙間を通る過程でフィルターのようにこし取られる。同時に流勢も竹の弾力によって弱められ、敷地内では緩やかな流れになるように計算されていたようである。

しかしまだこれだけでは洪水による破壊は免れても、内部の建築は浸水してしまうため、内側の居室としての建物自体を高床式とすることで、結果として床下浸水にはなるものの、致命的な被害は受けないように設計されていると考えられるとある。以上が「高床式」になった理由のようである。(内山)



池より書院群を望む

池周囲の建物には、細い皮付丸太を柱にしている建物が目に付いた。仕事柄、皮を付けたままのように墨付けをしたのか興味がある。しかも丸太同士の接合部は綺麗に納まっている。見事である。そして私が一番気になっていたのは書院群(古書院・中書院・新御殿)が「高床式」になっている事であった。そこで調べてみた。

立命館大学歴史都市防災研究センターの論文によると過去、京都における水害は極めて多く発生している。しかし、京都歴史災害年表からは桂離宮およびその周辺地域における具体的な水害が判明しない。1846年から1852年までの間に鴨川、桂川、淀川が大いにあふれ皆決壊とある。ここにも桂離宮の被害は記していないが、水害にあった可能性は否定できないとの事。



御幸門



外腰掛



桂垣



月波楼



京都グルメスポット(番外編)



◆伏見稲荷大社

お稲荷さんの総本宮である伏見稲荷大社。連続する赤い鳥居が有名ですが、時間の都合で



境内には入らず、稲荷寿司を食べてきました。静岡の俵型とは違い、関西なので三角型です。酢飯に白ゴマが入っていておいしい。やはり伏見稲荷に来たら稲荷寿司ですね。(塩見)



京都グルメスポット(番外編)

◆料庭「八千代」 / 京都市左京区

東山山麓の南禅寺の参道入口に建つ料亭・旅館「八千代」、美しい日本庭園を眺めながら本格的な京の季節料理を味わえます。築120年以上の木造建築で、落ち着いた雰囲気との空間と格式の高い佇まいが長い歴史と伝統を感じさせます。(星野)



Contents

■表紙・裏 「特集 京都」桂離宮 広報情報委員 内山孝
■新年の挨拶

2 (公社) 静岡県建築士会会長 飯尾清三
静岡県くらし・環境部建築住宅局長 青野直己

■第62回 建築士会全国大会 北海道大会

3
■委員会事業報告 全国大会 北海道大会 参加報告
4 本会青年企画委員長 渡邊俊伸

■連載 景観整備機構【瓦版】 第89号

5 景観整備機構・まちづくり委員会委員 山崎勝弘

■連載 2019 しずおか木造塾

6 第1講座(設計作法)
しずおか木造塾委員会 早津和夫、石上鎮夫
7 第2講座(設計作法、森林の現状)
しずおか木造塾委員会 山下晋一

■コラム コーヒーブレイク

8 “木造建築の魅力”「古い考えの人中部ブロック」
“京都・ブレキ・公園・静寂……”「サクチャリ西部ブロック」

■連載 ハイブリッド社会に生きる

9 住宅資産研究所 倉田剛

■特集 京都

10 京町家 広報情報委員 三田芳之
11 酒蔵の町 // 山口知己
12 コーヒーショップ // 長尾隆行
13 #kyoto run 走って感じる京都 // 鈴木 忠

■委員会事業報告 第10回「建築甲子園」静岡予選大会

14 本会青年企画委員長 渡邊俊伸

■お知らせ、編集後記

16 事務局からのお知らせ、入退会者、編集後記・ご意見募集
■裏表紙・裏 第12回静岡県景観賞

地盤調査からコンクリート杭・PC基礎の製造・施工まで対応

目立たない安心をお届けします

詳しくは、ホームページで ▶ 野村商店 🔍

www.nomuragroup.com



NOMURA Since 1922 株式会社 野村商店

伊東営業所 TEL.0557-45-2245
伊豆南営業所 TEL.0558-22-3655
熱海営業所 TEL.0557-82-1244
伊豆中央営業所 TEL.0558-76-3114
御殿場営業所 TEL.0550-83-1306
沼津営業所 TEL.055-941-7020
静岡営業所 TEL.054-284-3461
基礎事業部 TEL.054-284-3461
浜松営業所 TEL.053-422-3636

令和元年の年頭にあたり

公益社団法人
静岡県建築士会
会長／飯尾清三



新年あけましておめでとうございます。
本年が静岡県建築士会、会員の皆様にとりまして、よりよい年となりますよう祈念申し上げます。
正月休みは例年通りにのんびりと過ごし、今年一年を想像して、つかの間の休日を楽しみました。皆様もそれぞれの正月を過ごされたかと思います。
さて、去年は全国大会準備委員会を立ち上げ、静岡大会の会場を「グランシップ」、日程を令和4年10月28日と決め、東海北陸ブロック会長会議を通じて連合会へ提案しました。本年は具体的な計画作成に着手することとなります。実行委員会の組織案と各部会の担当者の選任などをおおよそ決めていきたいと思っております。次年度新執行部となりましても会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。
また、今年は建築士試験制度の改正があり、その対応もしていかななくてはなりません。受

験者数増加に伴う会場の手配や準備が大変になり、受験者の実務経験は受験要件から免許登録要件になることから、実務経験審査も毎月開催することになりそうです。

これ以外にもTOUKAI-0事業が追加延長最終年となることから、この事業についても変化があるのかもしれませんが、いろいろと変化の年となりそうです。

公益社団としての健全な運営はもとより、会員の皆様が会費に見合ったサービスや事業内容を認識できることなど、今年も課題が満載であります。会員増強や若い建築士の入会も地味ではありますが、できることを各委員会、各機構にて検討してもらい、実施可能なことから進めていきたいと思っています。

会員の皆様のご協力をお願いするとともに、皆様の一年のご多幸を祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

新しい年を迎えて

静岡県くらし・環境部
建築住宅局長／青野直己



謹んで新年のお祝いを申し上げます。
公益社団法人静岡県建築士会の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、本県の建築住宅行政の推進につきまして、格別の御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年3月1日には改正建築士法が施行される予定であります。この改正では、建築士試験の受験資格が見直され、大学卒業直後から一級建築士試験が受験可能になるなど、建築士試験の受験機会が拡大されます。さらに、建築士の免許登録要件となる実務経験についても、対象実務の追加・拡大が図られます。この改正は、建築士が単に建築物の設計・工事監理を行うだけでなく、「建築物の総合的な専門家」としての役割が求められ、このような役割を担う優れた人材を継続的かつ安定的に確保するためとされています。貴会におかれましても、建築士人材の育成について一層の御尽力を賜りますようお願いいたします。
また、建築物・市街地の更なる安全性の確保や既存建築ストックの利活用の促進、木造建築を巡る多様な消費者ニーズへの対応を図るため、建築基準法が改正され、昨年6月に全面施行されました。改正法令の適正な執行

に御協力をお願いいたします。
さて、木造住宅の耐震化プロジェクト「TOUKAI-0」につきましては、令和2年度が耐震改修促進計画の最終年度を迎え、高い目標である耐震化率95%の達成に向け、さらなる周知・啓発に努めるとともに、空き家対策と連携した住み替え、建替えの促進や耐震補強の設計と工事を一体で行う補助制度の活用促進を図ってまいります。
また、被災建築物応急危険度判定につきましては、市町の判定実施本部体制の強化や防災拠点、避難所などの優先判定建築物に対する速やかな判定の実施のため、必要な判定士や判定コーディネーターの確保が急務と認識しております。引き続き市町と連携し、判定体制の整備に努めてまいります。
貴会におかれましては、今後とも卓越した組織力と技術力をいかに発揮していただき、住宅・建築物の地震対策の更なる推進のため、御協力をお願いいたします。
今後とも、住宅・建築物の安全性・信頼性の確保や質の向上に向け、一層の御尽力と御協力をお願いするとともに、貴会の御発展と会員の皆様の御繁栄、御健勝を祈念し、新年の挨拶といたします。



令和元年 9 月 21 日に函館市で開催された第 61 回建築士会全国大会北海道大会に参加した。全国から約 2,900 人の会員が集まり、大会式典、記念講演をはじめ充実したプログラムにより会員相互の交流を深めた。



函館アリーナ入口①



大会旗引継ぎ



表彰者記念撮影 (メインアリーナ)



函館アリーナ入口②



広島県 (次回開催県) アピール



大交流会 (サブアリーナ)



記念展示



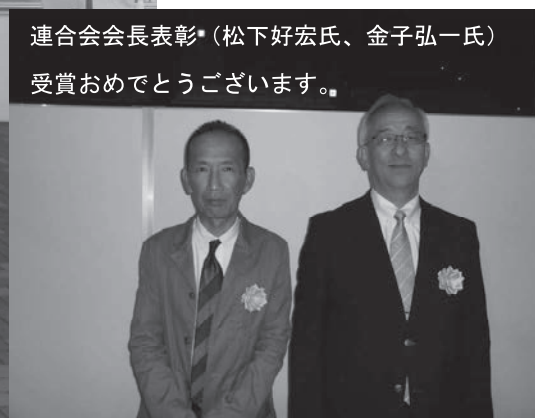
女性委員会セッション



大会モニュメント前で記念撮影



青年委員会セッション



連合会会長表彰 (松下好宏氏、金子弘一氏)
受賞おめでとうございます。

青年企画委員会事業報告

全国大会 北海道大会 参加報告

本会青年企画委員長 渡邊俊伸

まだ暑さも残る9月20日(金)全国大会開催に先立ちまして全国青年フォーラムに参加いたしました。今年度の連合会の企画はSNSの発信方法を函館市内を散策しながら実践し、会場に移ってからはSNSについての講師をお招きし街歩きで投稿したものについて解説や投稿方法などについて楽しく講習いたしました。知ってるようでよく知らない『ハッシュタグ』の使い方など改めて学びこの先さらにSNSの活用が拡大する時代にふさわしい青年フォーラムでした。



翌9月21日(土)函館アリーナにて午前中、青年の地域交流セッションでは今年度東海北陸ブロックを代表して静岡県は発表してまいりました。発表内容は、東部ブロック青年事業であります『建築フェスタ』について発表してまいりました。当事業の企画立案されました東部ブロック秋山青年企画委員長は他ブロックに先駆け先陣を切って発表に臨まれ過去4年間の実績、課題、これからの展望など全国に向けて発表しその後のテーブルワークも全国各地からの青年の方々より質疑に応じるなど活発な発表になりました。結果は奨励賞をいただきました。『建築フェスタ』はさらに発展し今後も続いていきます。





アーティスト主催のワンナイトバー吉野祥太郎氏



空きビルを使って行ったワークショップ交流会

現代アートでまちづくり

最近よく耳にする現代アートってどのようなものか知っていますか。

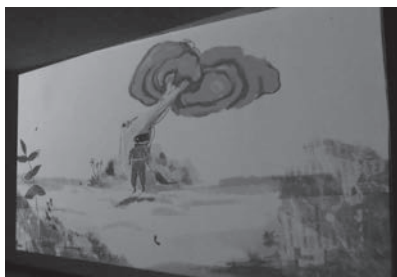
現代アートの定義は難しく、現代社会の情勢や問題を反映し、美術史や社会への批評性を感じさせる作品のことも言われています。そのジャンルはキャンバス絵画にとどまらず、立体や映像、インスタレーション（空間表現）、パフォーマンス（身体表現）など多岐に渡っています。



その現代アートをまちづくりに活かさないかと活動を行っています。

以前『富士の山ビエンナーレ』の活動について紹介させていただきましたが、今回は2年に1回のビエンナーレの合間の年に行っている事業を紹介させていただきます。

現代アートと古建築はとても相性が良いのではないのかということをおはかねがね感じていました。文化財建造物を使って行われる展示はひと味違う感じがするのです。人々の歴史や思いがこもった空間に展示するアートは、その空間の重みゆえ深い作品が出来上がるのではないのかと思います。



FujinoyamaART HUB
2019 参加アーティスト
Kawo a.k.a. Sushijyo
のアニメ作品

今回の活動の舞台はさびしくなった商店街の空きビルです。地域の人たちが親しんだ哀愁漂う空きビルをアーティストのレジデンスとして整備し『Fujinoyama ART HUB』として情報の発信基地とする計画です。現在進行中のこの計画では3人のアーティストを招聘し、レジデンスに滞在して地域の情報をリサーチし作品を創り出していくというプログラムを行っています。

このプロジェクトではどれほど地域の人たちを巻き込めるかが成功のカギだと思われます。アーティストのフィールドリサーチなどの活動の中で多くの人にイベントを知ってもらい、地域の人たちと感動を分かち合いたいと思っています。が、残念ながらイベントの周知はなかなか難しく上手くは行っていません。



この事業で一番重要な事は空きビルや空き店舗のオーナーに利益を作り出すことです。そのきっかけとなれるのか。建築士として何が出来るのか。まだまだ課題は山積みですが、少しでも前進出来るよう努力してゆきます。また興味のある方の応援をお待ちしております。

山崎 勝弘（景観整備機構・まちづくり委員会 委員）

するがの国の芸術祭
富士の山ビエンナーレ
マイクロレジデンス事業

F A H
Fujinoyama ART HUB
2019

Fujinoyama ART HUB 2019

Fujinoyama ART HUBは、富士本町商店街にあるイケダビルを使用して行われる、マイクロレジデンスプログラムです。今年からは国内外から3名のアーティストが滞在し、2019年9月から12月の間に、それぞれ約30日間、富士本町商店街を中心に各地でリサーチを行い、地域の人々の協力を仰ぎながら、この町の歴史を紐解き創作活動を行います。本プログラムでは地域との交流、地域の歴史や文化に反応し、広く多分野と繋がっていくような表現行為を重視しています。アーティストたちが地域の皆様への聞き取りや、フィールドリサーチを行いますので、その際にはぜひご協力をお願いいたします。期間中には参加型ワークショップなども開催します。最新情報はチラシやウェブサイトをご覧ください。活動報告展は2020年2月ごろに行う予定です。

富士の山ビエンナーレについて

富士の山ビエンナーレは、静岡県静岡市・富士市・富士宮市で2年に一度行われる現代アートの芸術祭です。日本の象徴でもある富士山を正面に仰ぎ、複数の行政区を跨ぎ開催しています。2014年の「富士の山ビエンナーレ2014」以降、現在に至るまで80名近いアーティストが参加し、作品展示を行ってきました。本プログラムは民間運営のプログラムです。

主催：富士の山ビエンナーレ実行委員会
共催：静岡県文化プログラム推進委員会
助成：富士市民活動支援補助金
事務局：富士の山ビエンナーレ実行委員会事務局
静岡県富士市岩淵41（株式会社ヤツタ内）
Tel：0545-81-0063
E-mail：contact@fujinoyama-biennale.com

アーティスト滞在予定

- ・吉野祥太郎（東京） 9/22-10/23
- ・Kawo（台湾） 9/24-10/24
- ・西原尚（横浜） 11月末-1月

イケダビル（富士本町駅）

2018
SHIZUOKA
静岡県文化プログラム

2019しずおか木造塾 第1講座（設計作法）

しずおか木造塾委員会 早津和之、石上鎮夫

令和元年9月7日（土）静岡県産業経済会館で、開校20年目の塾が、受講生83名を迎えてスタート。

第Ⅰ部「木造の近未来」～森と街をつなぐ建築～

講師：古川 泰司氏（東京：アトリエ・フルカワ）

古川さんは森林インストラクターと木材コーディネーターの資格をもつ稀有な建築家で、県内の製材関係の方々とも交流されている方である。住宅設計がメインであったが、埼玉の「わらしべの里共同保育所」で中規模建築物の設計を3年前に手掛けた。

・設計図書が森と建築をつなぎ、木造の近未来をつなぐ。

（詳しくは古川さんの事務所HP、冊子「森林組合」に"木材活用はバケツリレー"を執筆中）

・森 ⇄ 木（丸太） ⇄ 木材 ⇄ 家

上の4つの関係がなかなかつながっていないので、人と人をつなぐためにコミュニケーションが大切。

・"木材の品質"は大工さんが担保していたが、設計者の責任ではないかと投げ掛ける。

・「JAS製材品」の中味を理解して設計図に書きこむ。

（目視等級や機械等級の内容の理解）

・「わらしべの里共同保育所」では、子どもたちが、木の魅力を感じて、毎日元気にウチと外で遊んでいる。



わらしべの里共同保育所（埼玉）

第Ⅱ部「街とつながる 環境とつながる」

講師：関本 竜太氏（東京：リオタデザイン）

「フィンランド建築留学」

2000年2月、事務所を辞め単身ヘルシンキへ！自分に響いた建築を体験して理解を深めようとして、ヘルシンキ工科大へ留学。大人感漂う授業。そのまま、ヘルシンキの事務所に勤める。働き方も各自自分のスタイルで、コンペに臨んでいた。

【仕事を進めるうえで 基本となる考え方】

1. コントロールできるものと、できないものに要素を分ける。
2. コントロールできないものは諦めて受け入れる。
3. コントロールできるものは徹底してコントロールする。3を怠ると後に後悔しか残らない。

小さな納まりを追求し過ぎると本末転倒。建て主を常に見て仕事をするのが大事で、デザインのためのデザインをしてはいけない。

「隅切りの家」（埼玉県草加市）

施主は土地の持つ良さには気付かないもの。北側の桜がどう見えるか？桜の時期は、1年に5日だけではあるが夢のような空間が完成。他に事例紹介。

第Ⅲ部「アールト建築から学ぶ」を二人で語る。

多くの作品の中で、『セイナッツアロ役場』は素朴でスケール感の良さを絶賛。議場のトラスが目立たないがかっこよい。屋根が面白い。

『アールトの自邸』はヒューマンタッチなところは特にきれいにつくっている。アールトの建築はすべて明かりを考えて設計している。

2019しずおか木造塾 第2講座（設計作法・森林の現状）

しずおか木造塾委員会 山下 晋一

令和元年10月26日（土）静岡県産業経済会館

第Ⅰ部 『町と家の「あいだ」を考える』

～沖縄の外部空間から学ぶ～

講師：伊礼 智氏（東京・伊礼智設計室）

自分の原風景、学生の時、伊是名（いぜな）島を巡り感動した。今も学生を連れて行っている。「銘刈（めかる）家」は本当に綺麗。すごく地味だけど美しい。この民家を見ると「こうゆう仕事でいいな・・・」と思う。軒先は2100mm。この軒先が本当に綺麗。

竹富島、中村家住宅のヒンプン。ヒンプンは敷地への出入り口に設けられる目隠しのようなもの。厄除け、悪いものを跳ね返す。人の出入りや動線を分ける役割もあるが、扉は無い。町全体を緩やかに繋げている。

作品を4つ紹介。『工務店の社長の家』は、周囲は、表と裏が繋がっていないので、延べ床30坪だが、庭を散らした・・・裏の緑が表から見えるのは、銘刈家っぽい。ヒンプンのある庭。南の引き込み窓から、北の引き込み窓へと通り抜けて繋がる。設備はハイテクもローテクも入れた。

奥村昭雄先生曰く、「建築は見えない所までデザインしなければならない」

『下田のゲストハウス』沖縄の民家に見られる軒先空間、「雨端（あまはじ）」。外と内の「あいだ」にある、曖昧な空間。この「雨端」の考え方を二階に持ってゆけないか・・・緑と建築が絡まってゆく、新しい雨端が造りたかった。窓際が一番キモチイイ。

窓は、遠くが見える所に向かって開口を設ける。天井には、あまり照明をつけない。

『柴木材店のモデルハウス』はつくば里山博に建つ平屋。OMXソーラーでリアルZEH。南北に大きな窓を持つ。

第Ⅱ部 『林業業界の現状とこれから』

～建物が育てる森林～

講師：速水 亨氏（三重・速水林業）

昨今の林業は、蓄積量が増加し、自給率も回復している。またバイオマス発電や国産合板の生産増加など、需要は拡大しており、プラス面も多いが、住宅着工数減や、木材価格の下落、森林所有者の所得が無い状態で、再造林が放棄されている。

日本の植林には、長い歴史があり、江戸時代の浮世絵や明治時代の山林の写真を見ると、木が無い。そこから植林によって現在の森林が出来ている。

「今までの林業はどうだったのか？」基本的に規模の拡大を目指した、森林組合を中心とした体制で、供給拡大が先走り、需要拡大が遅れてしまった。そんな過去の問題点を評価をしないで、間違いの繰り返しをしている状態。30年間価格が下落しつづけたのは、日本だけ。杉の製品価格は戻っているが、立木価格は下がっている。木が売れても、山には返ってこない。速水林業は、自然と地域、二つの共生をしながら山づくりを行っている。人工林をちゃんと管理すれば、自然が豊かになる。

今、再び丸太需要が増え、長材で自由に造材できるようにしたり、板用に2m、4mの造材などを行っている。

FSC森林認証は世界的には当たり前。「人は森の民、森から離れてどこへ行く？」

ドイツの森林学者、アルフレッド・メーラーは、こう言っている。「最も美しい森林は、また最も収穫多き森林である。」

木造建築の魅力

古い考えの人／中部ブロック

先日、京都へ行き初めて桂離宮を見学しました。回遊式庭園と数寄屋風の木造建築物の美意識の高さに圧倒されました。単純な私は桂離宮も好きなところのひとつになり、大好きな京都に行くのがもっと増えそうです。京都以外でも日本の古い建物を見るのが好きな私ですが、特に時代を感じさせてくれる木造建築物はわくわくします。そんなわくわくする建物を箱根で見つけました。そこは箱根町塔ノ沢にある「元湯 環翠楼」という老舗の旅館です。なんと創業は江戸時代からで約400年の歴史があり、登録有形文化財に指定されています。環翠楼の建物は、大正時代の中ごろに建てられたようで、本館南棟は木造4階建て、別館は木造3階建てで造られています。その4階には、「神代閣」と「万象閣」の60畳大の大広間があり、この大空間を木造で、尚且つ現在も使用していることに私は興奮しました。さらに建物だけでなく、館内には明治時代の金庫や大正時代のレジスター、電話器などの古物が当時のまま置かれています。また、この旅館には調理場から料理を上げ下げする木造のリフトも当時から設置されており、現在も使用していることにびっくりしました。今回、宿泊した部屋は別館で、改修工事が終わったばかりの部屋でしたが、古い雰囲気そのまま伝える改修となっていました。古いものを使うというのはとても手間ひまかかり、難しく大変な工事ですが、旅館の方の残して活かしたい強い思いがあるからこそ、このような良い建物になったと感じました。別館の改修工事はスケルトンにして1年かかったそうです。この3階建てを1年で改修するのも早いと思いました。今の若い人や外国人観光客にも使いやすく、愛される建物に仕上げた大工さんと旅館の当主に脱帽でした。こんな時代を感じさせてくれるこの旅館で、伊藤博文や夏目漱石などの著名人たちが愛した温泉につかり、懐石風料理や美味しいお酒を楽しむことができ、至福な時間を過ごすことができる旅館が箱根にあります。ぜひ、みなさんも一度行ってみたいかがでしょうか。



環翠楼

京都・ブレーキ・・・公園・・・静寂・・・

サクちゃんり／西部ブロック

今回の取材旅行で、犬を飼っている僕はサクちゃん（犬の名前）を助手席に乗せて、愛車**パジェロ**で**京都**に向かった。ともあれ無事に着き、桂離宮の見学後、伏見方面に向かう最中に事件は起こった。桂川沿いの川茂道を爽快に走っていたのであるが、ブレーキを踏むと、まるでゴジラの咆哮のような音が後部座席の下で鳴り出したのである。助手席のサクちゃんが怖がって悲鳴をあげるほどの大きさである。

あくる日、予定という、大原三千院の見学、そのまま鯖街道を北上しながら取材をして、福井県小浜の友人宅への訪問であった。お土産にうなぎパイの最高位「うなぎパイVSOP」を用意してある。しかし、この車の異音を放っておくことはできず、パジェロ修理に予定を変更することにした。あちらこちらに取材に向かうメンバーをしり目に、僕はいそいそと「三菱京都販売中京区店」に向かった。幸いにも、夕方までにはなんとか修理は終わるとのこと。**ブレーキパットの磨耗**が異音の原因だったようである。

さて、そうすると夕方まで時間をつぶさないといけない。僕は、車に積んであった自転車を組み立て、サクちゃんをリュックで背負って、とりあえず、京都見物に行くことにした。ちょっとメタボ系のサクちゃんなので、結構ハードな輪走である。西に東に駆け巡ってみようと意気込んでいたのであるが、早々にあきらめて、公園で時間を潰すことにした。一所にいと不審者に思われるので（どうも僕はその素質があるようである）、**公園から公園への梯子の旅**である。

公園はここかしこにあり、あまり苦勞せずに見付けることが出来た。住宅街を走っていると、保存しようと頑張っている町屋、古都らしさをイメージした斬新なデザイン住宅、そんなのいちいち考えていられるかというまあ普通の建物などが乱立していて、それはそれで興味深い。そして一番に感じたことは、「静寂」であった。路地には人はあまり見かけられず、自転車、バイク、バケツ、子供のおもちゃなどが乱立している。もしかしたら、**僕が京都で探していたものは、この混沌とした静寂**だったのかもしれない。

実は道に迷ってたいへんだったのであるが、夕方に三菱販売にたどり着いた僕は、たいへん親切な対応に感謝し、うなぎパイVSOPをお礼に渡して、掛川への帰路に就いた。



居心地がよかったらしく、リュックの中が気に入りになったサクちゃんと無駄になってしまった「大原」「鯖街道」の本



100年時代の「住まいと暮らし革命」

倉田 剛*

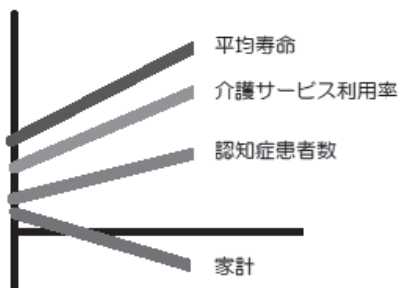
100年時代を迎えて、かつて経験しない長寿は、長き退職後を約束するものであり、僥倖となるはずである。しかし現実はずしもそうではないようだ。

稿者は、今年10月から来年3月まで、毎月1回、藤枝市生涯学習センターでセミナーを開催している。セミナーの演題は、「老後を、どこで、だれと、どう過ごしますか？ 弧住・共住・協住を考える」、受講者の大半が60代から80代の女性である。

最初のセミナーの受講者が抱えている老後の不安とは、「おカネ」と「介護」であった。「おカネ」については、何歳まで生きるのか見当もつかない老後に、おカネが足りるかどうかの不安であった。次の不安の種は、「誰が自分を介護してくれるのだろうか？」であった。

下の図が示すように、長生きすれば老人性疾患リスクは高まる、外部サービスへの依存度も高まる、家計の負担も膨らんで、毎月、貯えを取り崩すようになる。こうした老後がいつまで続くのだろうか？生涯必要なおカネに関しては死期が予知できない限り計算も立たない、したがって、最後の時まで不安は尽きない。

図一100年時代の老後の不安



米国イェール大学で、23年間続いている人気講義がある。その講義では「死とは何か」を議論の柱に据えている。人は誰もが必ず死ぬ。限りある時間を、どう生きるのか、どう生きたいのか。生きているうちに、迎えるべき「死」について真剣に考えを巡らすべきであり、「どう生きたいのか」を自らに問うべきと、ジェリー・ケガン教授は学生に説いている。

セミナーでも、「死」について取り上げてみた。「死」を受け入れるシチュエーションを想像してみることで、「終の棲家」の必須条件を整理できるからだ。

だが80代の受講生たちは、「死」について考ようとはしなかった。60代の受講生数人は予想以上の興味を示した。「死」に至るまでの常識的な時間差に起因す

る態度の違いなのかもしれない。セミナーでは、老後の生活設計に必要な知識を習得しようとする60代、具体的な事例を聞こうと参加しているのは80代の受講生であった。

2回目のセミナーでは、「リバースモーゲージ」を取り上げた。この日の受講者の大半が、持家に住み、子供がいないか老後を子供に依存しない夫婦であった。老後の「住まい」と「暮らし（おカネ）」の問題を同軸的に解決する方法、すなわちリバースモーゲージを具体的に検討したいと希望する方が多かった。リバースモーゲージは、現在の家にそのまま住み続けながらその場所（土地）の市場価値を担保に生活資金を借出すローンである。リバースモーゲージの場合は返済までの期間は借入利息の支払義務があるが、それも生活費の調達コストと考えれば納得できる負担となる。最近では、自分たちの老後を子供に依存したくないと考える親が増えている。となると住んでいる家も老後の生活資金に流動化してしまう仕組みのリバースモーゲージは検討に値する。

また老後に備えて、抱えている住宅ローンの残債をリバースモーゲージで借り換えてしまう、そうすれば元金は死後一括返済となり、毎月の利払いだけになる。住宅ローンの残債の借り換えだけなら、リバースモーゲージ型住宅ローン（死後一括返済型住宅ローン）を使ってでもできる。雑駁な話だが、現役時代は住宅ローンを利用して家を取得する、やがて退職したらリバースモーゲージ・ローンを使ってその家を現金化する、この連環がスムーズならば老後生活の自助自立が視界に入ってくる。

リバースモーゲージでは先駆的なアメリカ人は、老後の住まいと暮らしについても十分に戦略的である。アメリカ人にとっての「住まい」とは、アメリカンドリームシンボルの象徴であり、伝統的な不動産投資の対象であり、したがって住まいの買い替えは極めて活発である。退職後の終の棲家は早いうちから購入しておき、レンタルしている。退職したら、住んでいる家を夫婦の非課税枠を活かしながら売却して終の棲家に移り住む、80代に入った頃、リバースモーゲージを使いながら老後を過ごす。ちなみに富裕層の場合はゲイティッド・コミュニティを終の棲家とするのがステイタスとなっている。

翻って、日本でリバースモーゲージが普及するのは当分先になりそうだ。不動産市場が成熟していない、持家信奉、リバースモーゲージを借金と勘違いしている等々が理由である。リバースモーゲージは確かに不動産担保ローンではあるが、個人資産の流動化（解凍）スキームであって、いわゆる借金とは別の仕組みである。この違いを峻別できない限り、リバースモーゲージは普及に至らない。日本人がプロダクティブ・エイジングを目指すならば、資産観や生活観にも改めて意識改革が必要となる。

* 一級建築士、経営学博士、経営情報科学博士
NPO法人リバースモーゲージ推進機構・理事長

■京都—京町屋—

東山区 柚之木町

京町家の宿 京都旅庵 然

所在地 京都市東山区柚之木町 356

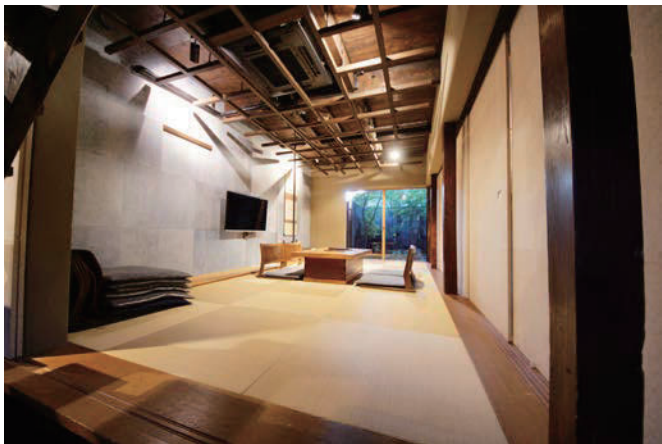
定員 2名から10名

■町家宿泊レポート

町家に宿泊する機会が訪れたのはこれで2回目。1回目はもう9年も前の2010年10月、この時は建築士会の青年メンバーでした。今回は前回泊った時はどうだったのか色々思い出しながら町家を堪能しました。

さて、前回と大きく違う部分、これは誘導灯があり、火災警報器があり、ABC消火器があった。昨年の民泊の改正によるものだろうと、真夜中に一緒に泊った福田さんに教わった。

今回泊った町家は東区柚之木町にある「然」という場所でした。1階に8帖の客間・台所・浴室2階には6帖の客間・ベットルーム、各階に便所と、決して広いわけでもなく、サッシも木製、隙間風がきつとあるかもしれないので、真冬の寒い時期に快適に過ごすことは難しいかと思いますが、不便ながらも京都の雰囲気を楽しむには、ホテルよりは良いかと思えます。



さて、それぞれの部屋を見てみましょう。1階の10畳の客間、玄関からすぐの場所で、廊下が土間なので、台所や2階に向かうときはクツを履く必要があります。面倒に感じるかもしれませんが、この部屋からは目の前に坪庭があり、三方が開口になっていて、とても開放的です。

夜には5人で寝る事になりましたが、圧迫感を感じること無く休む事が出来ました。

宿と違って食事の提供などは出来ない代わりに台所には調理器具・お皿・冷蔵庫など揃えになっていて、自由に使うことが出来ます。



その奥には3畳ほどの大きな脱衣場と3畳ほどの大きな浴室。とても広くて快適で、浴室からも別の坪庭があり、京都らしさを感じられます。

2階に目を移します。6帖のゲストルームは畳敷の和室。障子を開けると1階土間の吹抜があり、はたして落下したりする人はいないのかなと、変な事を考えてしまいました。この部屋は3名宿泊でした。

その横には6帖より狭い感じの部屋がありベッドが2つあります。一番奥の一番静かな場所で、感想を聞いたら、とても良く眠れたとの事でした。



エアコン完備や断熱材とペアガラスの高気密でないとか段差が多いのとかなど、今の一般的な住宅とは違った不便さなどもあり、建築に携わらない友人と来ても、多分この雰囲気を楽しむ事は難しいと思えます。

そのゆえ雰囲気を楽しめるのも建築士会の仲間の良いところだと思います。(三田)

■ 京都一酒蔵の町一

伏見区中書島

伏見区中書島地域

元々宇治川の分流に囲まれた島であった中書島。交通の便が良く遊廓であり花街でもあり、また酒の名所であった為に変遷した町でした。年月を経て現在は住宅街となったこの地域は、酒蔵が点在し街中を流れる川には小舟が浮かぶ風情溢れる場所です。

■ 伏見水濠 一十石舟・三十石船一

町中に川が流れる中書島、江戸時代には水運にも利用されており、その運搬船は現代に復活され観光船として運行されています。川岸の酒蔵を眺めながら、船に揺られ川沿いの風情を楽しみながらの船旅を楽しめます。



■ 寺田屋

坂本龍馬襲撃事件いわゆる「寺田屋遭難」で有名な旅館・寺田屋です。三十石船乗船場のすぐ傍にあります。現在の建物は鳥羽伏見の戦で罹災し再建されました。



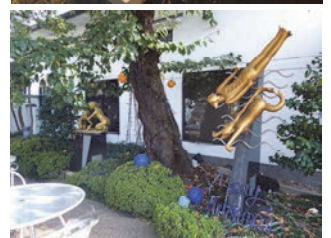
■ 月桂冠大倉記念館

月桂冠発祥地にある伏見の酒造りと月桂冠をテーマとする博物館(有料)で、有形民俗文化財の酒造用具類などが展示されています。隣の酒蔵も見学可能(要予約)で酒造りについての解説を聞くことができます。



■ 黄桜記念館 Kappa Gallery

黄桜の歩みと酒造りの工程などの解説、キャラクターである河童の起源から歴史、各地の伝承などの資料を展示した資料館(入場無料)です。隣接する黄桜カッパカントリーでは、食事や京都の出来たての地ビール等も楽しむ事ができます。(山口)



🍴 京都グルメスポット(番外編)

◆ 神馬(しんめ) / 京都市上京区

“神馬”は昭和九年(1934年)創業の京都老舗中の老舗の居酒屋です。灘の酒6種類を混ぜた看板のブレンド酒が有名です。料理も大変美味しく“予約必須”のお店です。



京都—コーヒーショップ—

下京区・中京区・東区



京都で今熱い、極上のコーヒーが楽しめるお店に行ってきました。

多くの老舗喫茶店が愛されてきた京都に、有機豆やシングルオリジンなど、こだわりのコーヒーが頂けるお店が続々とオープンしています。

古都の町屋、寺社、川沿いの景色を楽しみつつ、美味しいコーヒー店巡りはいかがですか。(長尾)

【1軒目】開化堂カフェ (kaikado Cafe)

明治8年創業の日本で一番古い歴史をもつ手作り茶筒の老舗「開化堂」が経営するカフェ。登録有形文化財に指定されている建物が店舗になっています。しかも、元市電の旧車庫兼事務所だったようで、コーヒーを頂いたフロアの天井が高かったのは、市電が入るためだったからのようです。



頂いたコーヒーは「中川ワニ珈琲」によるオリジナルブレンドで、香り・苦み・コク・酸味とバランスのとれた美味しいコーヒーでした。銅の茶筒、市電の車庫に思いを馳せながら頂くコーヒーは格別でした。

開化堂カフェ

住所 京都市下京区川原町通七条上ル住吉町352

営業 10:30~19:00

【2軒目】イノダコーヒー本店

1940年創業の老舗喫茶店。創業者の猪田七郎が芸術界との関わりが深かったことから、谷崎潤一郎、池波正太郎などが常連客として知られている。



「京都の朝はイノダに行かないと始まらない」ということで、朝一から行動開始！ネルドリップの美味しいコーヒーと、昔ながらの朝食（本格ボンレスハム、生野菜サラダ、ふわふわのスクランブルエッグ、バターの香り高いクロワッサン）を頂きました。ボリューム満点の、大満足の朝食となりました。館内は古いサロン風で、テキパキと働くスタッフの姿も印象的でした。



イノダコーヒー本店

住所 京都市中京区堺町通三条下ル道祐町140

営業 7:00~19:00

【3軒目】アラビカ京都 東山 (ARABICA Kyoto Higashiyama)

アラビカコーヒーは、香港発のカフェ。日本には京都の東山、嵐山、下京区の藤井大丸と、3店舗あります。東山店は、法観寺の「八坂の塔」を正面に見て、八坂の石畳を店内に引き込んだような設計になっています。世界チャンピオンのバリスタの入れるカフェラ



テが有名なようですが、私は、ケメックス1カップホットのエチオピアアダドのネルドリップを頂きました。ハワイの自社農園や、厳選した世界中から仕入れた豆を扱っています。印刷されている「%」のロゴが印象的で、タンブラーや、キャニスター、バックなどでグッズとしても展開しています。八坂の塔をバックに「%」のカップを写真でパチリ！インスタ映え間違いなしです。

アラビカ京都 東山

住所 京都市東区星野町87-5

営業 8:00~18:00



■ はじめに

広報委員会での京都取材旅行は各自記事テーマを決めて参加。桂離宮、町屋などは皆にまかせ、自分は早朝の京都市内を走って巡ることにした。仕事でここ数年は遠方に出かけることが多く、泊まりの出張時は早朝にランニングすることになっている。車で通り過ぎるだけでは同じように見える景色もたとえ短い時間であっても走ることで目に見えるものは鮮明に記憶が残り、その町並みの持つ雰囲気を感じ取ることはとても楽しいものである。(鈴木)

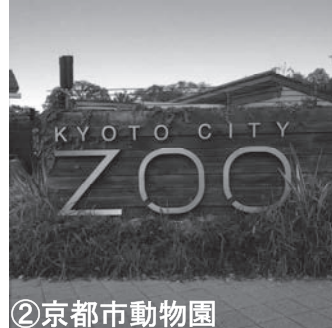
■ ランニングコース

宿泊した町屋の宿(東山区柚之町)は南禅寺に近く宿泊場所を中心に右のようなコースを考えてみた。

- 宿→①将軍塚→
- ②京都市動物園→
- ③哲学の道→④銀閣寺→
- ⑤鴨川→⑥京都御所→
- ⑦河原町→宿(約15KM、2.0h程度)



南禅寺界限を通り抜け②京都市動物園から③哲学の道へ。哲学の道はご承知の通り趣のある小路で、長さは



②京都市動物園

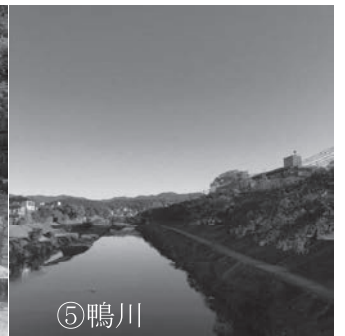


③哲学の道

約1.5Kmほど。センス良い小店やお宅が並び散歩をするにはすばらしく気持ちの良い小路でした。京都弁で挨拶を交わす行き交う人の中を通り過ぎると④銀閣寺。早朝の為、予想通り中に入れずに入り口にて記念写真。



④銀閣寺



⑤鴨川

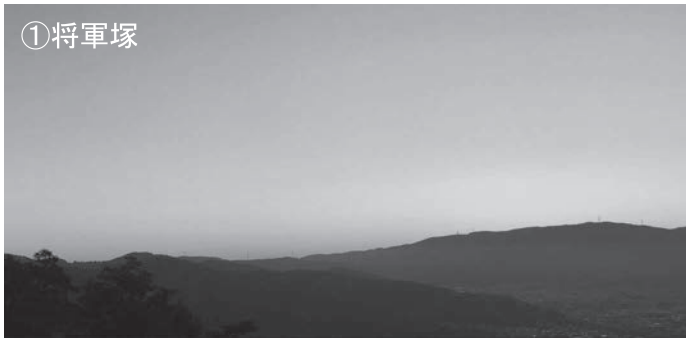
ここからは⑤鴨川沿いを南下する。途中、多くのランナーとすれ違う。そして目指すは⑥京都御所。明治2年までは使われていた歴史ある敷地はここが大都会である事を忘れてしまうような静寂な空気に満ちていました。

ここからは市内に入り河原町を通り抜け、途中 大人気の建築家 隈さん設計の完成間近の Ace hotel 京都の現場を覗き予定より長めの3時間の朝ランを楽しみました。次は春に# kyoto 桜 run しよう。



#Ace hotel 京都

①将軍塚



①将軍塚

京都市内で唯一(?)稜線の朝日が望める場所と考えた将軍塚。8世紀の末、桓武天皇が平安京造営に際し王城鎮護の為に甲冑を着せた土の人形を埋めた塚と伝えられている。静寂な朝を駆け上がり、頂上にて待つこと10分、無事に写真に納めて次の目的地へ。

①将軍塚



京都市内を一出来る将軍塚

京都御所



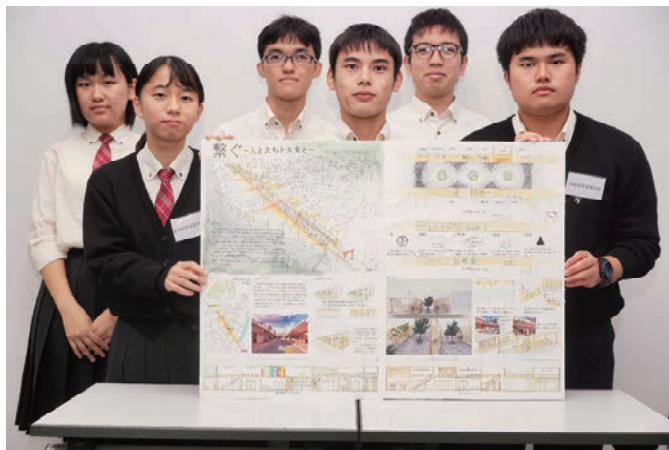
第10回高校生の「建築甲子園」静岡予選大会

本会青年企画委員長 渡邊 俊伸

今年で10回目を数えるまでになりました『建築甲子園』。今回は「地域のくらし これからの地区センター」をテーマに開催されました。全国大会出場は各県1作品に限られ静岡県内では大変な激戦区となってまいりました。昨年度、全国で教育・事業委員長特別賞に輝いた天竜高等学校をはじめ、過去には全国優勝にもなった事のある科学技術高等学校など静岡県は全国でもトップクラスと言える事でしょう。しかしながら無常にも1作品しか全国に送り出す事ができず今年度も厳しい審査会となりました。10月27日静岡市葵区にあります静岡市文化・クリエイティブ産業振興センターにて2年ぶりに公開審査会が開催されました。今年度は審査委員の増員にて執り行われ各作品隔々ま

で細かなところまで注目し審査について意見を出し合っておりまして。どの作品も甲乙つけ難く、またしても難しい審査になりました。その中でも浜松工業高校の「寄り添う事 共に生きる事 ～舞阪地区センター～」が総合的に評価されてうれしい初の全国大会へ出品になりました。この際、毎年おもうのですが、どの作品も全国へ送りたいと思うのは私だけではないはず。選ばれなかった作品も全国で充分戦えるものだと思います。11月末現在、今年度も静岡県代表は全国ベスト8を決め最終審査に進んでおります。

高校生のみなさん！お疲れ様でした。
そしてありがとうございました。



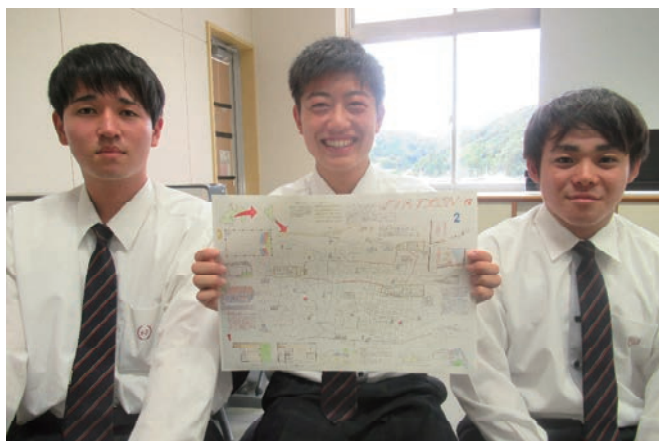
静岡県立科学技術高等学校
監督 杉山 諭 先生 選手7名
チーム名 繋ぐ ～人とまちと未来と～

作品名 繋ぐ ～人とまちと未来と～

その日あった何気ない出来事をスマートフォンで数え切れないほどの人と共有できる現代。あらゆるものが進化し、人々の生活は便利なものとなった。しかし、そんな便利さが生んだ新たな問題がある。それは、『人と人との会話によるコミュニケーション不足』だ。わたしたちはこの問題の解決の第一歩として、これからの地区センターには、もっと気軽に利用できる工夫が必要だと考えた。

わたしたちが暮らす静岡の町には、浅間通りという商店街がある。そこはかつて神社の参道として賑わっていたが、いまやシャッターを下ろす店が増え、時代と共に衰退している。

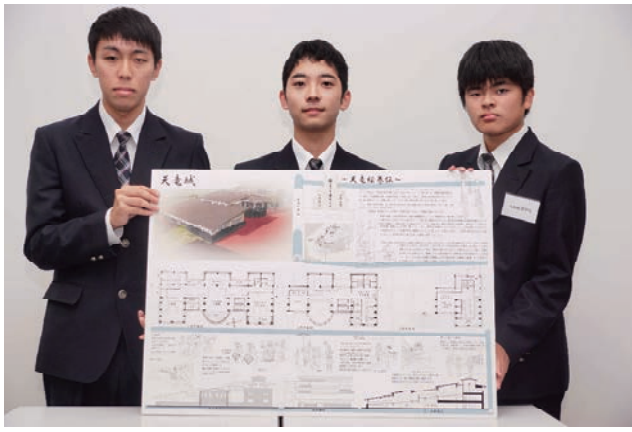
そこで、地区センターと商店街を合わせることを提案する。ボックス状のフレームを店舗前に設け、商店街に店舗と地区センターの機能を持たせる。そうすることで、気軽に立ち寄ることができるようになり、ふたつの問題を同時に解決できる。ここには、手の届くところに読みたい本があり、食べたいものがあり、人のあたたかさがある。そんな場所に、気軽に足を運べる。この地区センターが地域の人々に、浅間通りに、静岡市に活気をもたらしてくれることだろう。



静岡県立島田工業高等学校
監督 坂本 真生 先生 選手3名
チーム名 静岡県立島田工業高等学校
建築科コンペ班

作品名 STATION.n

すでに始まっている日本の縮小社会への移行により、年齢別人口の格差は広がっていく一方である。その中で地区センターのあり方も変わっていくのは必然だと思う。今ある地区センターは、地域によって年齢別人口、必要とされている施設は違うのにも関わらず、一つの場所に大きな規模で建てられている。効率化といえは聞こえが良いが、私たちは、それぞれの場所の用途にあった地区センターをそれぞれの場所に設けることにした。また、その分化された地区センターをICTで繋げたり、島田市の象徴でもある大井川鉄道の駅のように結び、自動運転化された自動車が移動することで地区全体に移動性が生まれる。また、この地区センターが島田市全体に分散していくことでネットワークが広がり、その地区がより魅力的な空間になって欲しいと考えた。



静岡県立天竜高等学校
 監督 太田 武 先生 選手 3 名
 チーム名 チーム天竜

作品名 天竜城 ～天竜絵巻伝～

天竜地区は、かつて今川氏が遠江の国を治めるための拠点として二俣城と鳥羽山城の二つの城を築いた。
 二俣城は、戦国時代から江戸時代の平和な時代になるにつれ用途が変わっていく。軍隊を配置して備え鉄壁な守りを固め戦闘態勢をとっていた戦国時代は、権力者への従順の意を込め、伐採した木々を献上することで城と共に地域も栄えていた。関ヶ原の合戦後は浜松城の支城となったが、城主の堀尾氏が出雲に転封すると廃城となってしまふ。廃城後は、儀式や緊急時の避難場所・集会所として利用され、ものを置く倉庫としての役割も果たした。
 この城が残っていたとしたら地域の人々にとって必要不可欠な建物となっていたに違いない。私達はこの地に、この時代の、城主をもたない住民を主役とした後世まで繋がる第三の城、「天竜城」を築くことにした。

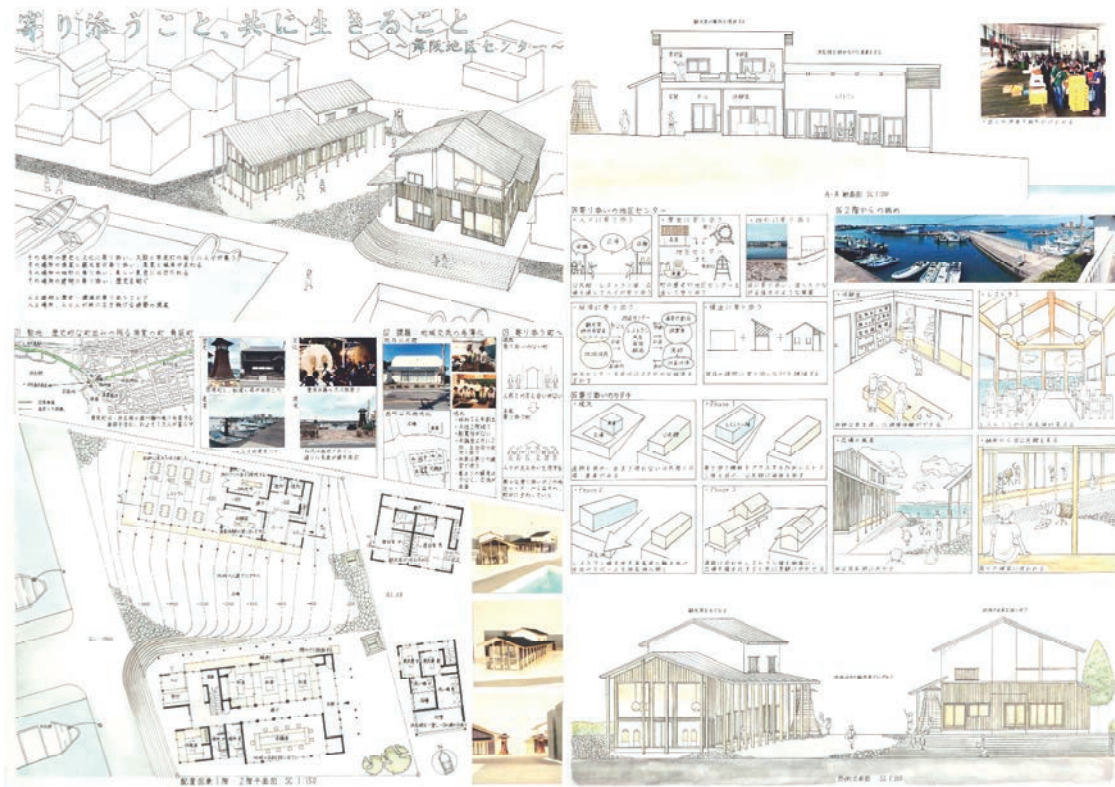


静岡県立浜松工業高等学校
 監督 藤井 邦光 先生 選手 11 名
 チーム名 建築研究部

作品名 寄り添うこと、共に生きること
 ～舞阪地区センター～

寄り添うこと、共に生きること～舞阪地区センター～
 その場所の歴史と文化に人々が寄り添い、太鼓と常夜灯の周りに人々が集う
 その場所の漁業と観光客が寄り添い、産業と経済が回る
 その場所の地形に寄り添い、美しい景色に心打たれる
 その場所の建物に寄り添い、歴史を紡ぐ
 人と建物と歴史・環境が寄り添うことで、人と場所、人と人が共に生き続ける建築の提案

令和元年度 最優秀作品の紹介 作品名 寄り添うこと、共に生きること ～舞阪地区センター～



静岡県立浜松工業高等学校 建築研究部

◆編集後記

11月初旬、紅葉には少し早い季節に、広報情報委員会のメンバーで京都に行きました。本号の特集「京都」は、従来の放浪記とは少し趣向を変え、それぞれの委員がテーマを持ち、旅をしながら取材を進めることにしました。

日本を代表する純日本風建築と回遊式庭園の「桂離宮」、木造長屋を宿泊施設にリノベーションした京町家「然」など、大きく5つのテーマを選ぶとともに、番外編はプチ贅沢な食事など、京都グルメスポットとして掲載しています。

温故知新、寺社のいえなみと初秋の彩り、美味しい食事は、日々の仕事や生活で忘れていたことを思い出させてくれました。今本百合香さん、「京ごふく」の宮下夫妻を始め、地元の皆様には本当にお世話になりました。

編集長：広報情報委員 星野 浩二



◆お知らせ、その他

◆ご意見募集

静岡県建築士会広報情報委員では、広報誌「建築静岡」をより有益な情報源とするためのご意見、ご提案を募集しています。お名前、ブロック名をご記入の上、下記あてに FAX でお願います。なお、いただきましたご意見は非公開とし、個々のご意見への直接回答は控えさせていただきます、ご了承下さい。

公益社団法人 静岡県建築士会
広報誌意見募集係 FAX 054-273-0478

◆広報情報委員会

担当理事：立石昌江 (中部)
委員長：杉山真一 (中部)
副委員長：内山孝 (西部)
：鈴木忠 (東部)

委員：
(東部) 三田芳之 ・ 塩見敏弘 ・ 長尾隆行
(中部) 小沼勝也 ・ 星野浩二 ・ 佐野真浩
(西部) 福田光宏 ・ 志茂野昌歳 ・ 山口知己

編集長：星野浩二 (2020Winter)

発行所：公益社団法人静岡県建築士会
〒420-0857 静岡市葵区御幸町9番地の9
TEL 054-254-9381 FAX 054-273-0478
http://www.shizu-shikai.com

印刷所：(有)橋本印刷所

◆事務局からのお知らせ

◇年会費の納入をお忘れの方は至急お手続きをお願いします。

お問合せは、本会事務局・各ブロック事務局まで。

本会事務局：054-254-9381 東部ブロック：055-939-8210

中部ブロック：054-204-6880 西部ブロック：053-451-5166

※会費及び入会金に関する規程

第5条第2項により会員様は、会費の年額を毎年5月27日(その日が土・日又は祝日に当たるときは翌営業日)までに納入しなければならないことになっています。

会員数 令和元年10月16日現在

■正会員 1,134
■賛助会員 152
■合計 1,286

入会者

■正会員 2名

静岡：西澤 賢治 1級

中遠：阿部 正雄 1級 S36生

中村建設株式会社
浜松市中区中沢町71-23

■賛助会員 4社

富士：三信通商株式会社静岡支店

富士市宮島309-6

富士：株式会社デグチホームズ

富士市厚原7-5

浜松：株式会社鈴木電工

浜松市中区萩丘1丁目18番13号

浜松：株式会社フォースワンAG

浜松市東区将監町8番地の1

退会者

■正会員 7名

■賛助会員 1社



京都グルメスポット(番外編)

◆京都ビアラボ / 京都市下京区

京都駅より徒歩10分、高瀬川のほとりにあるブルワリー併設のお店。オーストラリア人のビール職人が作るビールは「琥珀淑女」「野犬」「不意打ちサワー」など、ユニークなネーミングが特徴です。

又、煎茶エール、ほうじ茶スタウトなど、地元のお茶を使ったビールも看板メニューとなっています。

私は煎茶エールをチョイスしました。香り、味わい、のど越し、全てすっきりしていて、とてもフレッシュな味わいでした。あなたもお好みのビールを探しに、訪れてみてはいかがでしょうか？ (長尾)



京都ビアラボ
住所 京都市下京区十禅師町201-3
営業 15:00~23:00

まちせんアカデミー

2020年 合格目標 **1級 2級 建築士受験講座**

いよいよ学科本科コースがスタート!!

1級：2020年1月11日(土)開講 / 2級：2020年2月12日(水)開講

今年こそ建築士の資格を取る!

合格第一主義のTACメソッドによるわかりやすい講義と
まちづくりセンターの有資格技術職員によるフォローであなたを合格へ導きます!

比べてください

まちせんオリジナル

どこよりも **リーズナブルな受講料**

苦手克服! **“構造・法規”強化コース**

早期申込みがお得!

**早割
キャンペーン
\実施中/**

詳しくはHPをご覧ください

TAC 建築士講座パンフレットを無料でお送りします。お気軽にご利用ください。

■お問い合わせ、お申込み

まちせんアカデミー

054-202-5588

【電話受付時間】月～金 9:00～17:00

■インターネットからの資料請求

パソコン



静岡 まちせん 検索

<http://www.shizuoka-kjm.or.jp>

スマホ



露出型弾性固定柱脚工法
ベースパック[®]
PAT.



SC柱用 抗張接合工法
クラウンパイルアンカー[®]
PAT.P



鉄骨梁貫通孔補強工法
OSリング[®]
One Side Ring



お問い合わせ先

okabe 岡部株式会社 ベースパック事業部
〒420-0035 静岡市葵区七間町 18-1 PIVOT 静岡 301
TEL:054-204-7282 FAX:054-204-7288
URL:<http://www.b-pack.net/>

第12回静岡県景観賞（令和元年度受賞地区）

静岡県景観賞は「旧東海道久努の松並木」が最優秀賞（県知事賞）を受賞した。旧東海道の松並木を復活させる努力を続け、また、松を保存するためにDBをつくるなどの取組が評価された。

| 賞名 | 受賞地区 | 所在地 |
|----------------|------------------|-----|
| 最優秀賞(県知事賞) | 旧東海道 久努の松並木 | 袋井市 |
| 優秀賞(静岡県建築士会賞) | 日本平夢テラス | 静岡市 |
| 優秀賞(静岡県建設業協会賞) | 大丸山における森づくり | 伊東市 |
| 奨励賞 | 蓬萊橋を望む木製のフォトフレーム | 島田市 |



日本平夢テラス（写真提供：川澄・小林研二写真事務所）

“建築業界の発展”のために協働できること

私たち総合資格学院は、建設業界の振興を目的とし、様々なかたちで全国の建設系団体や地方自治体を協働させていただいております。

その活動は設計展の支援から、講演会の支援や当学院合格者の入会斡旋まで多岐にわたりますが、ここではその取り組みの一部をご紹介します。今後も、No.1スクールの自覚を持ち、このような活動を通じて建設業界に貢献して参りますので、各種イベントや企画に関するサポート等については、お気軽に最寄りの当学院までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

一社)東京建築士会 × 総合資格学院

住宅課題賞2018[建築系大学住宅課題優秀作品展]



東京建築士会の主催による設計展「住宅課題賞」は、建築を学ぶ学生のみならず、建築の基本である住宅の設計を通して建築への興味とその社会的意義の認識を深めるとともに、大学間、第一線の建築士との交流によって、建築教育の情報交換と向上を図る目的で開催されています。当学院が発行する本展記録集では、各校から選出された51作品すべてを各4ページで紹介。また、建築教育関係者の情報交換の場となるよう課題文を展示する、という設計展の趣旨を作品集においても踏襲し、作品紹介と一緒に課題文や指導教員のコメントも併せて掲載しています。

○オールカラー/1作品を4ページで詳細に紹介 ○作品ページには指導教員コメントや各大学の課題文も掲載 ○豪華審査員による公開審査ドキュメントを収録

全国の建築士会 × 総合資格学院

建築士試験願書提出×合格祝賀会

当学院では各都道府県の建築士会様と共同し、建築士試験願書提出会場での無料配布など受験生支援の活動を行っています。また、受講生の願書チェックなど受験申込をスムーズに終わらせるようサポートも行っています。毎年一月に全国で開催される合格祝賀会では、建築士会の皆様を来賓としてお招きし、建築士会の活動を知っていただくとともに、会員募集の場をご提供させていただいております。



願書提出会場の模様

合格祝賀会の模様

公社)奈良県建築士会 × 総合資格学院

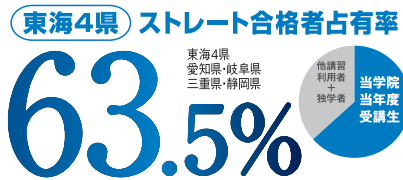
TOYO ITO at YAKUSHIJI「建築の夢」



当学院学院長がその理念に共感し、長年にわたり活動を支援する、日本を代表する建築家伊東豊雄氏を招いての、名刺を舞台とした地域色溢れる講演会。

総合資格学院は1級建築士試験も2級建築士試験も「日本一」の合格実績!

2018年度 1級建築士 学科・設計製図試験



東海4県ストレート合格者156名中、当学院当年度受講生99名 (2018年12月20日現在)

2018年度 2級建築士 設計製図試験



東海4県合格者366名中、当学院当年度受講生219名 (2018年12月20日現在)

2018年度 2級建築士 設計製図試験



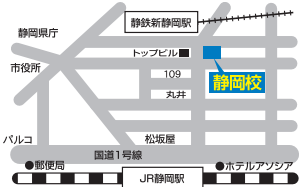
*全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。*全国合格者5,997名中、総合資格学院合格者2,179名・日建学院合格者2,137名・その他合格者1,681名 *前記、合格実績および合格者の内訳は2018年12月11日現在のものです。 *出典: <http://www.ksknet.co.jp/nikken/index.aspx>

●2018~2014年度 1級建築士設計製図試験 全国合格者合計18,464名中、当学院受講生10,427名 全国合格者占有率56.5%
●2018~2014年度 1級建築士学科・設計製図試験 全国ストレート合格者合計8,080名中、当学院受講生5,004名 全国ストレート合格者占有率61.9%

*当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。*全国/都道府県合格者数およびストレート合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。*学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。*総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

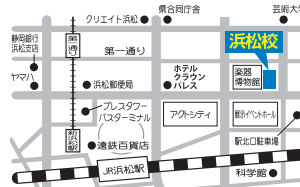
静岡校

静岡市葵区伝馬町 9-1 河村ビル 5F
TEL:054-275-3311 FAX:054-275-3301



浜松校

浜松市中央区 3-9-3 UNビル 2F
TEL:053-456-2211 FAX:053-456-2261



沼津校

沼津市高島町 6-3 アゼール沼津ビル 1F
TEL:055-930-2621 FAX:055-930-2622



総合資格学院



スクールサイト www.shikaku.co.jp
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp
総合資格 検索 Facebook 「総合資格 fb」で検索!

1級・2級 建築士

構造設計1級建築士
設備設計1級建築士

建築設備士

1級・2級
管工事施工管理技士

1級・2級
建築施工管理技士

1級・2級
土木施工管理技士

宅地建物取引士

インテリア
コーディネーター

賃貸不動産
経営管理士

公益社団法人 静岡県建築士会

定価1部270円、送料1部100円
会員の方には購読料として会費の中に含まれています。

建築静岡 Winter 2020

第671号 令和2年1月1発行
昭和33年12月25日第3種郵便物認可

発行所 公益社団法人静岡県建築士会
静岡市葵区御幸町9番地の9

TEL 054-254-9381
印刷所 (有)橋本印刷所